

カービュー マーケットウォッチ (2012年5月)

自動車総合サイト「carview.co.jp」を運営する株式会社カービュー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：金子 昭一）は、社団法人 日本自動車販売協会連合会が公表する「月間登録台数ランキング」をもとに、日本国内における自動車マーケットの動きを独自分析する。

全体で前年同月比99.5%増と7カ月連続プラスを達成

12年 4月順位	12年 3月順位	動向	モデル名	メーカー名	台数
1	(1)	→	プリウス	トヨタ	21,906
2	(3)	↑	アクア	トヨタ	18,481
3	(2)	↓	フィット	ホンダ	16,160
4	(5)	↑	フリード	ホンダ	7,828
5	(4)	↓	ヴィッツ	トヨタ	6,619
6	(6)	→	セレナ	日産	5,218
7	(12)	↑	ヴェルファイア	トヨタ	4,730
8	(21)	↑	スイフト	スズキ	4,105
9	(20)	↑	アルファード	トヨタ	3,865
10	(10)	→	デミオ	マツダ	3,692
11	(11)	→	パッソ	トヨタ	3,674
12	(15)	↑	ステップワゴン	ホンダ	3,541
13	(7)	↓	ノート	日産	3,359
14	(8)	↓	カローラ	トヨタ	3,331
15	(23)	↑	ソリオ	スズキ	3,168
16	(9)	↓	ラクティス	トヨタ	2,800
17	-	↑	86	トヨタ	2,760
18	(13)	↓	ヴォクシー	トヨタ	2,592
19	(29)	↑	CX-5	マツダ	2,427
20	(22)	↑	ウィッシュ	トヨタ	2,298

※ 社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ

※ 輸入車および軽自動車を除く

カービュー編集部独自の分析

■全体で前年同月比 99.5%増と7カ月連続プラスを達成 ただ海外メーカー製輸入乗用車は9カ月ぶりに前年割れ

今回は、日本自動車販売協会連合会（自販連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）、日本自動車輸入組合（JAIA）が発表した4月の販売データからマーケット概況をチェックしていこう。まず輸入車、軽乗用車を含め、国内で販売された乗用車総数は30万6261台、前年同月比は199.5%（貨物車、バスを含む新車総販売台数は35万9631台／前年同月比193.7%）とほぼ倍増となり、7カ月連続で前年を上回った。倍増といっても、昨年が東日本大震災直後で前年の10年4月比51.5%と半減したためだが、この10年4月の実績、29万8311台と比べても2.7%増のプラスになっている。4月から実際に申請が始まったエコカー補助金が後押ししていると思われるが、補助金の早期終了が見込まれるだけに、今後の各メーカーの対応に要注目だ。

輸入車と軽乗用車を除く3/5ナンバーの国産乗用車（日産マーチ輸入分のみ含む）は17万4806台で、前年同月比は207.2%。メーカーブランドごとの合計では、三菱が前年同月比64.0%とマイナスになった以外、2ケタのプラスで、特にトヨタは9万3445台／前年同月比294.9%とほぼ3倍増、レクサスも3456台／同208.7%で倍増と好調だった。

月間ランキングでは「トヨタ プリウス（α含む）」が2万1906台／前年同月比449.3%で11カ月連続トップ。2位は「トヨタ アクア」が1万8481台で1ランクアップ、3位は1万6160台で「ホンダ フィット（シャトル含む）」だった。このほか、4月から販売が始まった「トヨタ 86」が2760台で17位、前月29位でベスト30入りした「マツダ CX-5」は2427台で19位にランクアップしている。

軽乗用車は11万9225台で、前年同月比211.4%（貨物車を含めた全体では15万654台／同196.0%）と7カ月連続のプラス。メーカー合計（乗用車のみ）ではマツダ、スバルが前年割れとなった以外は2ケタ増で、特にホンダは2万2355台／前年同月比356.5%と絶好調。車名別でも「ホンダ N BOX」が1万6928台で、2カ月連続トップだった「スズキ ワゴン R」を押さえて初の月間トップとなった。

輸入乗用車は海外メーカー製のみでは1万2031台、前年同月比97.0%で9カ月ぶりに前年を下回った（日本メーカー製を含む輸入乗用車全体では1万4161台、同91.3%）。なかでも海外メーカーブランド別乗用車ランキングで3カ月連続トップを続けていたVW（フォルクスワーゲン）が2073台／前年同月比69.8%と3割強も落ち込み、2位に後退したのが響いた。ただ受注ペースは堅調で、マイナスは一時的なものになる見通しだ。このほか月間ランキングはBMW（ミニを除く）が2171台／前年同月比96.1%で4カ月ぶりのトップとなり、メルセデス・ベンツが1889台／同107.6%で3位。以下4位アウディ1377台、5位BMWミニ1016台、6位ボルボ631台、7位アルファロメオ340台、8位ポルシェ327台、9位プジョー316台、10位フィアット312台と続き、前年同月比ではアルファロメオが236.1%とダントツの伸びとなっている。

■ココも気になる！ その1

昨年世界市場でも 10.7%減と苦しんだホンダが攻めに転じる

昨年、東日本大震災、タイ大洪水により、大きなダメージを受け、販売台数が国内で 50 万 3532 台、前年比 77.8%にとどまったのはもちろん、世界市場でも 313 万 7000 台、前年比 10.7%減に終わった。しかし生産レベルが復調した今年は一気に挽回。国内では昨年 12 月に投入した「N BOX」が大ヒット中で、貨物車を含む 4 月の新車販売台数は前年同月比 104.9%増の 5 万 5508 台でトヨタに次いで 2 位につけた。昨年、年間合計で日産に抜かれたが、これで 2 カ月連続の 2 位キープだ。

世界市場でも、例えばアメリカでは前年同月比はまだマイナスだが、4 月 12 万 2000 台で 2 カ月ぶりに日産をかわし、5 位にランクアップ。中国市場でも 43.2%の大幅増となる 6 万 2000 台で、3 カ月連続で前年を上回った。

国内の乗用車市場はハイブリッドカー（HV）と軽が復調傾向を牽引しているが、4 月単月では「N BOX」が 3 位となったほか、「フィット（シャトル含む）」が 4 位、「フリード（スパイク含む）」が 10 位と 3 モデルがベスト 10 入り（日産はゼロ）。「フィット」はガソリン車 7303 台、HV4582 台、シャトルもガソリン車 618 台、HV3656 台で、フィット全体の HV 比率は 51.0%。フリードはガソリン車 3614 台、HV4214 台で、HV 比率 53.8%と、しっかり人気トレンドに乗った売れ行きとなっている。

今年は HV のほか軽にも力を入れていくと公言していたホンダの狙い通りの展開となっているだけに、今後も「フィットハイブリッド」に CR-Z 用ハイブリッドシステムを搭載した RS 仕様をはじめ、「N BOX」をベースにしたマルチパーパスモデルやファッショナブルな派生モデルを投入予定。さらにアメリカでの主力モデル、「アコード」も年内にモデルチェンジの予定で、北京モーターショーで中国専用モデルを公開するなど、攻めの姿勢を強めたホンダの今後に期待したい。

■ココも気になる！ その2

アウディのニューモデルラッシュに注目！

5 年連続で年間販売台数記録を更新し、VW、メルセデス・ベンツ、BMW に次ぐ輸入車ブランドとしての地位を確立したアウディ。昨年は 2 万 1166 台、前年比 25.6%増で、11 年 1 月に発表した「A1」をはじめ、「A6」、「A7」、「A8」と、従来のラインナップを上と下に拡充した効果が現れた形だ。とはいえ、トップ 3 の昨年の年間販売数は VW 5 万 631 台、メルセデス 3 万 4195 台、BMW 3 万 3207 台と、3 位の BMW と比べても 1 万台以上差をつけられているのも事実。アウディは 15 年までに日本での新車販売を 4 万台に引き上げる計画を掲げているが、そのためにもさらなるラインナップ強化は必至だ。

そこで今年も 1 月の「A5/S5」のマイナーチェンジを皮切りに続々とニューモデルを投入。

2月に新型「A6」のワゴン版となる「A6 アバント」、4月には主力モデル、「A4」をマイナーチェンジ、そして5月にはプレミアムコンパクト SUV、「Q3」を発売した。それぞれ年間販売目標は800台、5000台、1500台と公表されたが、Q3などは現状では211ps仕様の1グレード（170psのエントリーグレードが今秋デリバリー予定）であることを考えると、強気の目標といえるかもしれない。

ただアウディは世界市場でも好調で、昨年は19.2%増となる130万2659台で過去最高を記録。特にヨーロッパではC/Dセグメントと呼ばれるフルサイズラグジュアリーセグメントに属する「A6」、「A7」、「A8」、「Q7」が好調で、アウディ全体の売上高に占める割合が38.0%に増加した。今年はコンパクトクラスとなる「A1」の5ドア版、「A1 スポーツバック」をはじめ、「A3」もフルモデルチェンジの予定。日本では販売の主力になり得るクラスだけに見逃せないニューモデルになりそうだ。さらに「A6 ハイブリッド」や「Q3」よりスポーティかつコンパクトな「Q2」などの登場も噂されているだけに、アウディの快進撃はまだまだ続きそうだ。

上記プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カービュー 総務部 広報チーム (pr@carview.co.jp)
tel : 03-5859-6158 fax : 03-5859-6180
